

平成30年度(下半期) 産業保健研修・セミナー予定表



山梨産業保健総合支援センターでは、
経験豊富な専門スタッフが産業医、衛
生管理者、産業看護職、人事労務担当
者等の産業保健関係者の方々を対象に
無料で研修・セミナーを開催していま
す。
皆様のご来場をお待ちしております。




日医認定産業医
更新（生涯研修
単位取得可）

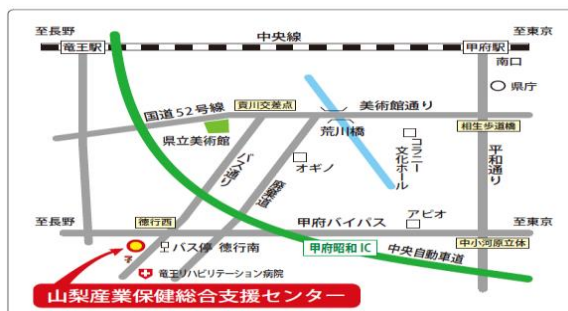
問い合わせ・申し込み先

受講を希望する方は、申込用紙又はインターネットをご利用ください。
QRコードを作成しましたのでこちらもご利用ください！



QRコード

独立行政法人 労働者健康安全機構

山梨産業保健総合支援センター
 ☎ 055-220-7020(代表) FAX 055-220-7021
 URL <http://www.yamanashis.johas.go.jp>
 〒400-0047
 甲府市徳行5-13-5 山梨県医師会館2階



開催日時	研修会場	研修テーマ／内容	講師	定員(名)	日医認定単位
10月3日(水) 14:00～16:00	山梨産業保健総合支援センター研修室	<p>職場で感染症と戦う ～敵を知り打ち負かす武器(感染予防対策)を身につける～</p> <p>近年、世界的な流行が危惧される感染症や毎年流行する季節的な感染症が数多くあり、職場で感染者が発生した際に対応を誤ってしまうと、感染者の増加によって企業活動が大きく阻害されることが想定されます。本研修会では、感染症に対する危機管理の基本的な考え方や職場でできる具体的な対策について考えていきます。なお、今回は海外出張や赴任で心配となる感染症についても触れる予定です。</p>	<p>峡東保健所 所長 藤井 充 (医師)</p>	30	生涯 専門 3単位
10月9日(火) 14:00～16:00	〃	<p>高齢期になっても元気で働くために ～中年期からの生活習慣と生活行動を改善しよう～</p> <p>最近では65歳まで働くことが多くなり、さらに高齢者の方も職場で見かけることが多くなりました。高齢者の心身の特徴を認識し、健康管理のコツを考えてみましょう。</p>	<p>山梨県立大学 教授 小田切陽一 (産業保健相談員)</p>	30	生涯 専門 3単位
10月10日(水) 14:00～16:30	〃	<p>職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:4回＞ Ⅱ-3回目</p> <p>職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスクエア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。</p>	<p>すげ臨床心理相談室 所長 菅 弘康 (臨床心理士) (産業保健相談員)</p>	10	生涯 実地 3単位
10月12日(金) 14:00～16:00	〃	<p>職場巡視に必要な労働安全衛生法の基礎研修 ＜衛生管理者等レベルアップ研修200＞ ～作業環境管理・作業管理・有害業務編～</p> <p>企業が安全衛生活動を行っていく上で基本となるのが労働安全衛生法です。労働安全衛生法を理解していなくては、正しい取り組みができないということになります。そこで、労働安全衛生法を正しく理解してもらうため、安全衛生実務担当者および衛生管理者等を対象に労働衛生の3管理のうち作業環境管理・作業管理として作業環境測定やリスクアセスメントについてのお話と、塗装等の有機溶剤作業や溶接等の粉じん作業等の有害業務についてお話しします。</p>	<p>山梨厚生病院・予防医学センター 調査役 望月明彦 (労働衛生コンサルタント) (産業保健相談員)</p>	30	生涯 実地 3単位
10月15日(月) 14:00～16:00	〃	<p>Life is Motion 生きることは動くこと! ～健康寿命の延伸のために動くことからはじめよう～</p> <p>＜脳血管疾患＞</p> <p>健康寿命を奪う3大原因は、認知症、脳血管疾患、そして運動器疾患(転倒・骨折、関節疾患等)です。これらを予防するためには、古くから指摘されているように「運動・栄養・休養」の3つが重要です。特に現在は、「運動」＝「動くこと」の意味を再認識すべき時です。人間は「動物」であることを、改めて考えてみましょう。3回の研修を実施し、それぞれの疾患の重み付け(運動との関係)を少しずつ変えて行きます。具体的には、1 認知症、2 脳血管疾患、3 運動器疾患です。</p> <p>※ 9月25日:「認知症」 10月15日:「脳血管疾患」 12月20日:「運動器疾患」</p>	<p>山梨大学大学院 教授 小山勝弘 (産業保健相談員)</p>	30	生涯 専門 3単位

開催日時	研修会場	研修テーマ／内容	講師	定員(名)	日医認定単位
10月19日(金) 14:00～16:30	山梨産業保健総合支援センター研修室	産業カウンセリング研修(企業内担当者育成) ＜Ⅱ期シリーズ:4回＞ Ⅱ-2回目 ～ストレスチェック制度の実施に伴い、現場で使える実践的な傾聴力を高める～ 職場における人間関係構築のための傾聴について演習を通して学んでいただきます。このことは、職場のコミュニケーションを円滑にしていくためにも効果的です。	エヌ心理研究所 所長 中村幸枝 (産業カウンセラー) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
10月24日(水) 14:00～16:00	〃	治療と職業生活の両立支援のあらまし 平成28年2月に厚生労働省より「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が公表されました。ガイドラインの普及と企業のみなさまに疾病をかかえる方々が治療と職業生活が両立できるような環境整備の取組みを支援する一環として、お話しいたします。	山梨労働局 健康安全課長 両宮労務管理事務所 所長 両宮隆浩 (両立支援促進員)	30	生涯 専門 1.5単位 生涯 専門 1.5単位
10月30日(火) 14:00～16:00	県立文学館研修室	健康はお口から ～定期的に歯科健診を受けましょう！～ 近年、歯周病と糖尿病、歯の数と健康寿命といった、歯と口の健康が全身の健康に与える影響が指摘されています。学校保健法で高校卒業までは定期的に歯科検診が行われています。卒業後、就職先で健康診断は実施されても、歯科検診は実施されていないのが山梨県の現状です。 健康増進法に基づく40歳からの歯周病検診までの間、歯科検診はありません。しかし、40歳では既にトラブルが始まっています。40歳までの間の歯と口の健康管理が重要です。そこで、企業や事業所で歯科検診を行って頂く必要があるため、歯と口の健康の大切さを説明します。	山梨県健康増進課 歯科保健主幹山田 幸 (山梨県口腔保健支援センター／歯科医師)	100	生涯 実地 3単位
11月7日(水) 14:00～16:00	〃	職場における受動喫煙防止対策 平成27年6月から受動喫煙防止措置が努力義務となりました。事業者及び事業場の実情に応じた適切な措置の例や助成金などについて解説します。	上野原市立病院 医師 岡本まさ子 (産業保健相談員)	100	生涯 専門 3単位
11月9日(金) 14:00～16:00	山梨産業保健総合支援センター研修室	労災保険制度の概要と業務上疾病の認定基準について ＜衛生管理者等レベルアップ研修201＞ 労災保険への請求は、墜落や転倒などの事故による負傷が多くを占めていますが、近年は、長時間労働などによる脳・心臓疾患や精神障害などの疾病による請求件数が増加しています。県内、全国的な労災請求の状況や、職業性疾患など、最近の労災補償制度の概要などについて説明します。	山梨労働局 労災補償課 担当官	30	生涯 更新 3単位
11月14日(水) 14:00～16:30	〃	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:4回＞ Ⅲ-4回目 職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。	すげ臨床心理相談室 所長 菅 弘康 (臨床心理士) (産業保健相談員)	10	生涯 実地 3単位

開催日時	研修会場	研修テーマ／内容	講師	定員(名)	日医認定単位
11月16日(金) 14:00～16:30	山梨産業保健総合支援センター研修室	産業カウンセリング研修(企業内担当者育成) ＜Ⅱ期シリーズ:4回＞ Ⅱ-3回目 ～ストレスチェック制度の実施に伴い、現場で使える実践的な傾聴力を高める～ 職場における人間関係構築のための傾聴について演習を通して学んでいただきます。このことは、職場のコミュニケーションを円滑にしていくためにも効果的です。	エヌ心理研究所 所長 中村幸枝 (産業カウンセラー) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
11月20日(火) 14:00～16:00	〃	料理カードを活用して望ましい食事のあり方を考える。 バランスのとれた食事とはどういう食事をいうのか、実物大 料理カードを活用して、日常の食事を選択し、それをパソコンで診断し、肥満度などの体型と食事摂取量から、アドバイスし、これからの望ましい食生活の実践に役立つ。	山梨学院短期大学 特認教授 田草川憲男	30	生涯 専門 3単位
11月28日(水) 14:00～16:00	〃	精神的な不調を抱えた人への職場でのサポートについて 職場では様々な精神的な不調を抱えた人が発生しますが、その人たちへのサポートが適切に行われると、働く人たちの安心感、職場への所属感を高めることとなります。研修では、職場での予防的な取り組み、精神的な不調を抱えた人へのサポートなどについて、お話をします。	後藤由美子 (臨床心理士) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
12月4日(火) 14:00～16:00	〃	職場のメンタルヘルス ～メンタル不調者に対するコミュニケーション～ 職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスクエア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。	樋口しのぶ (産業カウンセラー) (メンタルヘルス対策促進員)	30	生涯 実地 3単位
12月7日(金) 14:00～16:00	〃	発達障害傾向のある労働者への配慮と支援 平成28年4月施行の「改正障害者差別解消法」により、企業には障害者への合理的配慮の提供義務が課せられました。アスペルガー症候群やADHDなど発達障害をもつ労働者への配慮・支援について考えていきます。	こころの発達総合支援センター 副主査 林 史子	30	生涯 専門 3単位
12月12日(水) 14:00～16:30	〃	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:4回＞ Ⅲ-1回目 職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスクエア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。	すげ臨床心理相談室 所長 菅 弘康 (臨床心理士) (産業保健相談員)	10	生涯 実地 3単位

開催日時	研修会場	研修テーマ／内容	講師	定員(名)	日医認定単位
12月13日(木) 14:00～16:00	山梨産業保健総合支援センター研修室	精神科主治医と産業保健スタッフとの連携 ～症例を通じて～ 職場のストレス増大により産業医を含めた産業保健スタッフがメンタルヘルス不調者に対する機会が増えてきています。その様な状況の下、産業保健スタッフの皆さん、精神科医や心療内科医などの心の病の専門医とどのように連携していったらよいか悩んでいませんか？本研修では、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	山梨大学 助教 平田卓志 (山梨大学付属病院 精神科医) (産業保健相談員)	30	生涯 実地 3単位
12月20日(木) 14:00～16:00	"	Life is Motion 生きることは動くこと！ ～健康寿命の延伸のために動くことからはじめよう～ ＜運動器疾患＞ 健康寿命を奪う3大原因は、認知症、脳血管疾患、そして運動器疾患(転倒・骨折、関節疾患等)です。これらを予防するためには、古くから指摘されているように「運動・栄養・休養」の3つが重要です。特に現在は、「運動」＝「動くこと」の意味を再認識すべき時です。人間は「動物」であることを、改めて考えてみましょう。3回の研修を実施し、それぞれの疾患の重み付け(運動との関係)を少しずつ変えて行きます。具体的には、1 認知症、2 脳血管疾患、3 運動器疾患です。 ※ 9月25日:「認知症」 10月15日:「脳血管疾患」 12月20日:「運動器疾患」	山梨大学大学院 教授 小山勝弘 (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
12月21日(金) 14:00～16:30	"	産業カウンセリング研修(企業内担当者育成) ＜Ⅱ期シリーズ:4回＞ Ⅱ-4回目 ～ストレスチェック制度の実施に伴い、現場で使える実践的な傾聴力を高める～ 職場における人間関係構築のための傾聴について演習を通して学んでいただけます。このことは、職場のコミュニケーションを円滑にしていくためにも効果的です。	エヌ心理研究所 所長 中村幸枝 (産業カウンセラー) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
1月9日(水) 14:00～16:30	"	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:4回＞ Ⅲ-2回目 職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただけます。	すげ臨床心理相談室 所長 菅 弘康 (臨床心理士) (産業保健相談員)	10	生涯 実地 3単位
1月17日(木) 14:00～16:00	"	働く人の健康・体力づくり 労働者の健康保持増進のための身体活動の意義及び、健康・体力づくり運動の事例を紹介するとともにその実際についても解説します。	(公財)日本健康スポーツ連盟 主任研究員 依田武雄 (産業保健相談員)	30	生涯 実地 3単位
1月21日(月) 14:00～16:00	"	マインドフルネスの効果を体験してみませんか！ マインドフルネスは、禅の瞑想をベースにしています。呼吸、食べ物、飲み物、歩行などを通じて、今、このときの体の感覚に意識を向け、過去や未来にとらわれるのではなく瞬間の体験を大事にする心構えをつくるものです。うつ、不安に対して有効性のあるアプローチです。本講座では、専門家の臨床心理士がわかり易く解説します。	笠井正一 (臨床心理士) (産業カウンセラー)	30	生涯 実地 3単位

開催日時	研修会場	研修テーマ／内容	講師	定員(名)	日医認定単位
1月25日(金) 14:00～16:00	山梨産業保健総合支援センター研修室	<p>労働者の健康を守るために <衛生管理者等レベルアップ研修202> ～職場の環境改善(メンタルヘルス不調・過重労働による健康障害防止対策及び労働時間の適正な把握)のために使用者が構すべき措置に関するガイドライン等)について～</p> <p>働く人の心の健康確保、過重労働による健康障害を未然に防ぐためには、現場における産業保健スタッフ、さらには人事労務担当者を加えたすべての産業保健関係者が基本的な産業保健対策を理解するとともに、労働安全衛生法を中心とした関係法令、指針やガイドラインに習熟する必要があります。本講では、労働衛生対策の基本に立ち、職場におけるメンタルヘルス対策、過重労働対策及び職場における労働衛生管理体制(衛生委員会の進め方)等、日々の活動の基礎知識や考え方について事例を交えながらお話します。</p>	八巻俊道 (社会保険労務士) (メンタルヘルス対策促進員)	30	生涯 専門 3単位
1月29日(火) 14:00～16:00	"	<p>衛生管理者が行う労働者の健康管理 <衛生管理者等レベルアップ研修203></p> <p>労働者の健康管理というと健康診断を実施するなどして、肉体的な健康を保つというイメージがあります。それも大切ですが、健康を損なわない働き方ができるように調整をしたり、職場環境を整えたりすることも必要です。(労働衛生の3管理)健康管理活動の中心となるのは産業医の先生になります。また、大手企業では医療の専門職である看護職を配置しているところもあります。しかしながら、多くの企業では看護職の配置はなく、産業医も嘱託契約で月1回程度の活動のため、難しい部分もあります。実際に企業内において中心的立場で活動を行っていくのは衛生管理者(50人未満は推進者)になります。本研修では、医療の専門職ではない衛生管理者(推進者)が労働者の健康管理をどの様に進めていけばいいのか、そのポイントおよび産業医との連携の仕方等についてお話いたします。</p>	山梨産業保健総合支援センター 所長 高橋英尚 (医師)	30	生涯 実地 3単位
2月8日(金) 14:00～16:00	"	<p>「職場での雇用管理とメンタルヘルス対策」 ～発達障害のある方及びメンタルヘルス不調者への対応～</p> <p>①発達障害の特性に応じた関わり方について基礎知識を紹介します。 ②メンタルヘルス不調により休職となった方の職場復帰のポイントと障害者職業センターで行っている職場復帰支援(リワーク支援)について紹介します。</p>	山梨障害者職業センター (上席障害者職業カウンセラー) 堂本朗子他1名	30	生涯 専門 1.5単位 生涯 専門 1.5単位
2月13日(水) 14:00～16:30	"	<p>職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) <Ⅲ期シリーズ:4回> Ⅲ-3回目</p> <p>職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。</p>	すげ臨床心理相談室 所長 菅 弘康 (臨床心理士) (産業保健相談員)	10	生涯 実地 3単位

開催日時	研修会場	研修テーマ/内容	講師	定員(名)	日医認定単位
2月19日(火) 14:00~16:00	山梨産業保健総合支援センター研修室	職場の人間関係 ～お互いが支え合うコミュニケーション～ 心の病の原因の第1位は「職場の人間関係である」と言われています。ご自分のコミュニケーションスキルを磨き、楽しい仕事をしませんか。	後藤由美子 (臨床心理士) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
2月22日(金) 14:00~16:00	"	粉じん作業場・有機溶剤作業場の作業環境管理 ＜衛生管理者等レベルアップ研修205＞ 粉じん作業場や有機溶剤作業場を有する事業所の作業環境管理のポイント等を労働衛生工学の専門家が解説します。	山梨厚生病院・予防医学センター 調査役 望月明彦 (労働衛生コンサルタント) (産業保健相談員)	30	生涯 実地 3単位
2月26日(火) 14:00~16:00	"	がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ② ～治療と就労のバランスを支えるヒント～ 近年、増えているがんを持つ労働者が、治療と就労のバランスがとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討も含め解説します。	山梨県立大学 講師 前澤美代子 (がん専門看護師) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位
2月27日(水) 14:00~16:00	"	労働安全衛生法の理解を深める ＜衛生管理者等レベルアップ研修204＞ ～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	雨宮労務管理事務所 所長 雨宮隆浩 (特定社会保険労務士) (産業保健相談員)	30	生涯 更新 3単位
3月13日(水) 14:00~16:30	"	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:4回＞ Ⅲ-4回目 職場でのメンタルヘルスの相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスクエア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。	すげ臨床心理相談室 所長 菅 弘康 (臨床心理士) (産業保健相談員)	10	生涯 実地 3単位
3月19日(火) 14:00~16:00	"	職場のメンタルヘルス"ハラスメントのない職場をつくる ～聴く・伝えるコミュニケーション～ 職業生活におけるストレス等の原因トップは、「職場の人間関係の問題」です。意見の対立や価値観の違いは、時にはハラスメントに発展してしまうこともあります。相手との違いを聴く自分の視点や受け止め方を柔軟にし、働きやすい職場環境をつくることをテーマにした研修です。	(株)グリーンハート代表 取締役 長田暢子 (臨床心理士) (産業保健相談員)	30	生涯 専門 3単位